

1月以降の講座 クリエイティブ編「より伝わるデザイン、写真、言葉とは?」

2014年10月に開催して大好評だった講座を2日間に凝縮して、神戸で初開催。
「伝えたいことを、伝えたい相手に、伝わるように工夫」する、デザイン的な視点や考え方を体感できます。

伝わるデザイン、伝わる写真 2015年1月23日(金)

9:30~11:00 伝わるデザインとは?
いろんなデザインを見てみよう
11:10~12:40 伝わる写真とは?
13:30~15:00 スマホで撮影してみよう
講師:和田 武大(デザインヒーロー)

伝わるデザイン、伝わる言葉 1月24日(土)

9:30~11:00 伝わるデザイン、言葉とは?
実際に書いてみよう
13:30~15:00 伝わるデザインのまとめ
講師:二階堂 薫(コーピーライター)

【会 場】あーとすペーす童夢
神戸市灘区篠原北町2丁目1-30
TEL:078-219-9052

【対 象】再就業を希望する女性
(社会保険付・フルタイム・期限なし被雇用者は対象外)

【受講料】無料

【定 員】各5名程度、要予約

※全日程に参加できる方を優先します。1日だけの参加も可。
※今後は、姫路・神戸・尼崎などで同一内容にて開講予定。
最終的に全プログラムを受講してください。

※受講生の習熟度などにより、講座内容は変更する場合があります。

講座のお申し込み、お問い合わせはメールにて
Mail:ws@sdf.or.jp

トピックス 「女性の創業デザイン処(仮)」、オープン

「カフェを開きたい」「事務能力をアップしたい」など…社会で活躍したいという夢や希望を抱く女性のためのサロンが、レウルーラ姫路二階町3階に完成。考え方や視点を変えたり、知識や能力アップをめざす講座やイベントの開催をはじめ、事業内容や資金調達に関する相談、IT面の専門サポートなどを通じて、女性の創業をサポートしていきます。

起業した女性の声

2014年11月、「女性の再就業フォローアップモデル事業」を活用してレウルーラ姫路二階町に拠点を設けた、山崎恭子さんにお話をうかがいました。



山崎 恭子さん

一般社団法人
HQCコンシェルジュ協会
代表理事/
認定心理カウンセラー・
インナーセラピスト
兵庫・姫路在住

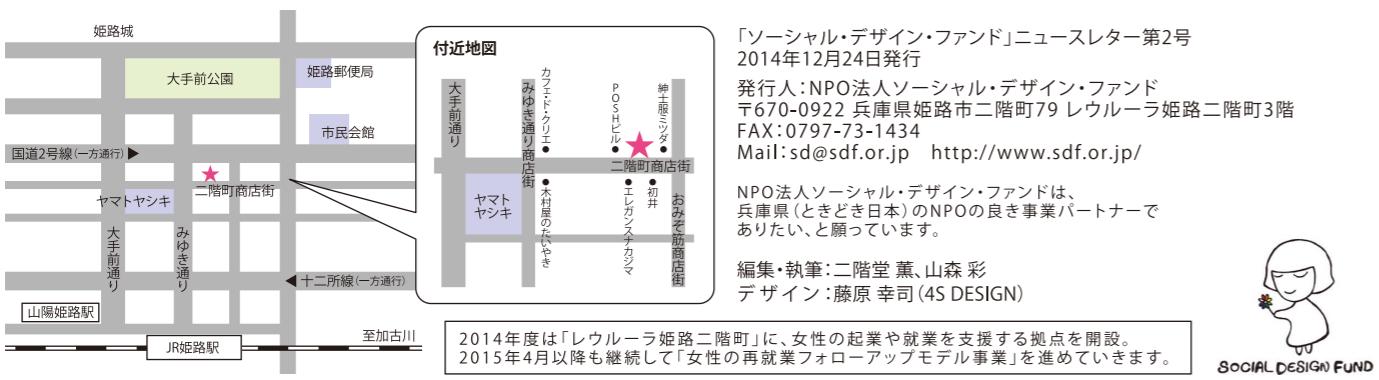
「HQC」…Health Quality Checkは、病気に向かいつつある「未病」の状態を世界で初めて「見える化」した臨床検証に基づくシステム。60の質問に答えるだけで心からだの状態を確認することができ、パソコンやスマートフォンで気軽にチェックすることができます。

私はこれまで、姫路を拠点に女性の心とからだをケアする仕事をしていました。健康について独学で学んでいたとき、HQCを活用して健康づくりをサポートする「HQCコンシェルジュ」という仕事に出会い、さらにキャリアを深めたいと約1年の研修を経て、第1期のHQCコンシェルジュになりました。

現在、全国に10名いるコンシェルジュのうち、7名が姫路の女性。私のように、別の仕事をしながらHQCコンシェルジュになった仲間がほとんどです。

まずはここ姫路を拠点に、健康づくりイノベーションで地域の活性化をかかり、コンシェルジュの育成を通して女性が本来持っている能力を高め、自立する機会を増やしていくたらと願っています。

※ソーシャル・デザイン・ファンドでは、山崎さんの起業に際し、事業内容の整理や拠点の準備、Webサイト運営の方法などをサポートしました。



伝えたいことを整理する

自分の頭で考えて、工夫する

視点を変えると世界が変わる

人に伝えることも
大事な仕事

02
December
2014

考え方の幅を広げたい

結婚、出産等で
職をはなれたけれど、
また仕事をしたい
女性のための

相手に分かりやすい表現に

受け手の視点を意識すること

優先順位、メリハリを

知識だけでなく、
大切なのは使い方

講座レポート

クリエイティブ編

—より伝わるデザイン、写真、言葉とは?—

「女性の再就業フォローアップモデル事業」は、結婚や出産などで仕事からはなれた女性の再就業を支えていくプロジェクト。知識や技術だけでなく、職場や日々の暮らしの中でも役立つ視点や考え方を学べる講座を開催しています。今回は、クリエイティブ編のもようを紹介します。

2014年10月、デザイナーの和田 武大氏、コピーライターの二階堂 薫氏を講師にむかえて。伝えるデザインや写真、言葉について考える講座が3日間にわたって開催されました。

「伝わるデザイン」講座では、伝えたいことを整理すること、優先順位やメリハリをつける重要性など、情報発信のさまざまな場面で気をつけたいポイントを、グループワークを通して体感。ポスターのデザインにも挑戦しました。

「伝わる写真」講座では、商店街に飛び出して気になる風景を撮影。会場である「レウルーラ姫路二階町」で実際に販売されている食品を題材に、撮影時の背景や商品の並べ方、撮る角度など、魅力的な写真の撮り方のコツを学びました。

「伝わる言葉」講座では、まず自由に書いてみて、「なぜ、何を、だれに、どのように」伝えたいのか、情報を整理して文章をそぎ落としていく過程を体験。伝わる言葉の特徴や状況に合わせた言葉を選ぶ重要性も教わりました。

情報を受け取る側の立場で考えることで、選ぶ言葉やデザインに対する意識が変わる講座。今後も同じ内容で、姫路や神戸、尼崎などの開講を予定しています。

受講者の声



西山 由紀子さん

姫路の季節野菜とナチュラル料理の教室「yukashi」主宰
兵庫・姫路在住



田畠 裕子さん

認定特定非営利活動法人
コムサロン21
兵庫・姫路在住

伝えるための視点や考え方の幅を広げたいなど、「伝わるデザイン」講座を受講しました。料理や食育にまつわる活動は、人に伝えることも大事な仕事のひとつ。どうしても自分の伝えたいことを優先しがちですが、「何を」「だれに」伝えたいのかを明確にして客観視すること、情報の受け手の視点を意識することの重要性に気づきました。わたしには小さな子どもがいるので…託児サービスを利用できる仕組みがあったり、講座が週末に開催されれば、より多くの女性が参加しやすいのではないかと思います。



講師×対談

Vol.01

和田 武大
二階堂 薫

デザイナー

コピーライター



開講レポートにおさまらなかった講師の想い、講座中にたびたび出てくる「受け手」の視点など…クリエイティブ講座で伝えたかったことを語ってもらいました。

知識や技だけでなく、大切なのは使い方

二階堂 さっそくですが…デザインと言葉の講座をセットにして開講しているのは、きっぱりとわけて話すことができないから、なんですね。

和田 デザインをする上で大切な情報の整理は言葉でおこなわれます。伝わるデザインには言葉が必要で、どちらかが欠けても成立しません。

二階堂 言いたいことが多すぎて、紙面に情報があふれている事例、多いですよね。今回の講座では、よりよく伝えるために工夫する意識、情報を受け取る側の視点を持ってほしいなど考えました。かっこよくつくりたい、上手に書きたい、という気持ちが先行すると見た目だけにとらわれてしまう。適切に伝えるという目的が薄れてしまうと、伝わらないものが生まれてしまうんですよね。

みんなが持っている「受け手」の視点

二階堂 デザインにも言えることですが、情報の受け手(読み手)を意識すると、言葉づかいや優先順位のつけ方が変わります。ふだんは「これは興味がある」とか「わかりやすい」などと見るものを無意識に選別しているはずなのに、発信する側になると、情報をつめこんでしまうんですよね。

和田 情報の受け手としての視点を本当はだれもが持っているのに、自分が発信する立場になると、なぜかわざれてしまうんですよね。けれど今回の講座のように、ちょっとしたきっかけがあれば意識が向かうようになると思います。

和田 武大

デザイナー。数社のデザイン制作会社を経て、2014年に「デザインヒーロー」として独立。グラフィックデザインに限らず、デザインを広くとらえて取り組む。大阪デザイナー専門学校非常勤講師。
<http://www.designhero.jp/>

二階堂 薫

コピーライター。百貨店で企画・宣伝を経験後、フリーランスに。ものごとの企画・編集、ライティングなど。衣食住をはじめ、行政や教育、福祉など暮らしに寄り添う領域にたずさわる。
<http://kaorinikaido.com/>